

## 区役所福祉系業務調査・分析業務受託候補者選定委員会 審査基準

区役所福祉系業務調査・分析業務受託候補者選定委員会の審査基準に関し、以下のとおり定めるものとする。

### 1 審査方法

- (1) 「区役所福祉系業務調査・分析業務受託候補者選定委員会設置要綱」に基づく、区役所福祉系業務調査・分析業務受託候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、審査を行う。
- (2) 審査方法は、審査項目ごとの評価点数の合計点数を競う「プロポーザル方式」により行う。

### 2 審査の手順

- (1) 企画提案書受付時に熊本市改革プロジェクト推進課（以下「事務局」という。）にて提示金額が提案上限額以内であるかを確認する。提示金額が提案上限額を超えている場合には、その企画提案書は審査から除外する。
- (2) 選定委員会の委員（以下「選定委員」という。）及び事務局は提出の記載内容を事前に確認する。
- (3) 選定委員会にて提案者からのヒアリングを実施する。
- (4) 選定委員は、「別表 審査項目」に示した項目ごとに評価する。
- (5) 事務局は、(4)において各選定委員が評価した点数を合計し、全選定委員の合計点数を提案者の得点とする。  
※ヒアリングはオンラインにより開催する。具体的な開催方法については、企画提案書等の受領後に別途指示する。

### 3 受託候補者の選定

- (1) 審査の結果、合計点数の最も高い提案者を候補者として選定する。
- (2) 複数の提案者が同点の場合には、審査項目のうち、「2 業務調査」の合計点数が高い者を上位とする。  
「2 業務調査」の合計点数も同じ場合は、くじにより決定する。
- (3) いずれの提案も合計点数が150点以下の場合には、要求する水準に満たないものとして候補者の選定に至らないものとする。

別表 審査項目 (※評価基準については、A：大変優れている、B：優れている、C：普通、D：劣っている、E：大変劣っている とする。)

審査項目		評価の視点	評価基準		配点	備考
1	業務実施に対する基本方針	本業務の目的や、基本仕様書の内容を十分に理解した企画提案が具体的に示されているか。	A評価	5	25	5点満点 ×5名
			B評価	4		
			C評価	3		
			D評価	2		
			E評価	0		
2	業務調査	基本仕様書、「7 業務内容」の(2)の業務について、業務調査の手法や進め方等について具体的に示されているか。 また、対象業務所管課の負担軽減に繋がるような工夫がなされているか。	A評価	10	50	10点満点 ×5名
			B評価	8		
			C評価	6		
			D評価	4		
			E評価	0		
3	事務フロー図の作成と業務量分析	基本仕様書、「7 業務内容」の(3)の業務について、事務フロー図作成や業務量分析における成果品イメージが具体的に示されているか。 また、作成予定の事務フロー図等は、明確で分かりやすいものであるか。	A評価	10	50	10点満点 ×5名
			B評価	8		
			C評価	6		
			D評価	4		
			E評価	0		
4	集約化等の方向性検討・整理	基本仕様書、「7 業務内容」の(4)の業務について、方向性整理の手法が具体的に示されているか。 また、現時点で想定される懸念点がある場合には、その対応策が具体的に示されているか。	A評価	5	25	5点満点 ×5名
			B評価	4		
			C評価	3		
			D評価	2		
			E評価	0		

審査項目		評価の視点	評価基準		配点	備考
5	集約化等の実現に向けた支援	基本仕様書、「7 業務内容」の(5)の業務について、あり方検討資料をはじめとした各ドキュメント（成果物）のイメージなどが具体的に示されているか。 また、庁内合意形成等を円滑に進めることに寄与する効果的な手法や工夫があるか。	A評価	5	25	5点満点 ×5名
			B評価	4		
			C評価	3		
			D評価	2		
			E評価	0		
6	独自性	本業務の目的や、基本仕様書の内容を達成するために効果的な独自の提案や工夫等がなされているか。	A評価	5	25	5点満点 ×5名
			B評価	4		
			C評価	3		
			D評価	2		
			E評価	0		
7	業務遂行能力	本業務を遂行する上で、必要な人材や責任者などが十分に配置されているか。特に対象業務所管課の負担軽減が図られるよう、従事者を適正に配置しているか。 また、本業務を遂行する上で、有益となる過去の類似業務等の実績を有しているか。	A評価	5	25	5点満点 ×5名
			B評価	4		
			C評価	3		
			D評価	2		
			E評価	0		
8	スケジュール	基本仕様書の内容を踏まえ、各業務の準備段階を含めたタスク管理が適切に行われ、無理なく効率的に進行管理ができる手法や工夫が示されているか。	A評価	5	25	5点満点 ×5名
			B評価	4		
			C評価	3		
			D評価	2		
			E評価	0		
合 計					250	50点満点 ×5名